

専門研修 I・(実務経験者)更新研修 I 提出事例

受講者氏名	茨城 花子		
基礎資格 (主な資格を記載する)	介護福祉士		
所属事業所 (職名)	○△※×支援センター (介護支援専門員)		
事業所連絡先	住所 〒000-0000 茨城県〇〇市〇〇 777 番地の 7		
	TEL	0000-00-0000	FAX 0000-00-0000
E-MAIL	aaakkkbbb@nnnl.ne.jp		
介護支援専門員としての 実務経験	1	年	3 カ月
事例提出者の所属 機関の役割と主な業 務内容	当法人は、〇〇を目指していることから、当居宅介護支援事業所でも同じ方針に沿って運営されている。 業務は、認定を受けた方のケアプラン作成を行っている。月 1~2 件程度の要介護認定調査も担っている。 基本的に、管理者の指示のもと業務を行っている。		
事例提出者の置かれ ている状況・立場等	1年目は、きちんとケアマネジメントができるようになることが目標であり、管理者の指導ものとして行ってきた。現在、2 年目になり後輩(ケアマネとしては初めての方)が入ってきたことから、私が教える場面も出てきている。そのため、しっかりとした知識とケアマネジメント力が求められている。		

提出する事例を理解する上で参考となる地域特性について記載してください。

〇〇市の高齢化は 29%となっており、他の市町村と同じように人口が減っている。要介護認定率は 14%台で県内でも低い方である。

特徴としては、東京をベッドタウンとする振興住宅地と農村地域とに分かれている。農村地域では、何代もそこで住んでいる方のため、地縁や血縁が強い地域である。近隣に親類縁者がおり、また幼少期から知っている間柄である方も多い。一方振興住宅地では、昭和 50 年代から整備された地域であることから、地縁や血縁はあまり強くない。サラリーマン家庭が多く、地域での行事もあまり活発ではない。今回の事例は、振興住宅地にお住まいの方である。その新興住宅地は、昭和 50 年代から整備されているが、世代が代わり住宅を建て直す家も出てきている。近隣は退職している方が多く、新興住宅地でも高齢者が増えてきている地域でもある。しかし、退職された方がボランティアや防災ボランティアなど活動が活発になってきているような面もみられる。

医療機関としては、二次救急医療機関が 1 か所ある。訪問診療については、いくつかのクリニックが行っており、相談しやすい環境にある。訪問看護ステーションは 2 か所しかなく、受け入れが出来ない場合もあるため、その場合は市外の訪問看護ステーションを依頼する場合もある。